

理事通信 2024 08

つなげよう地域と世界、YMCA と共に
Connecting Local to the World with YMCA

編集発行 / 西日本区事務局

ごあいさつ

『大きなインパクトを』

梅雨も明け、いよいよ本格的な夏の到来です。今年も猛暑で過酷な日々が暫く続きますが、健康管理には十二分にご留意をください。私は食事を楽しむ事が大好きです。好き嫌いも全くありませんが、仕事柄魚を食する機会も多く、少し贅沢ですが、この時期の鰹や鮎は本当に美味しいですね。皆様も夏の旬の食材を楽しみながら、暑い夏を乗り切ってください。

また、夏になるとユースリーダーとして神戸 YMCA 余島キャンプ場で過ごした学生の頃を思い出します。ちょうどこの時期は11泊12日の「長期少年キャンプ」という大変長いキャンプの開催中でした。私は企画・運営の役回りをよく担っていましたが、頭を悩ましながら、奮闘していた日々は今でも色褪せない思い出です。

さて、早速各部評議会、EMC シンポジウム等が開催されています。私自身も西中国部、九州部 EMC シンポジウムに参加しました。区からの EMC 事業方針の共有に加え、各クラブの課題と抱負も確認出来ました。また、大阪サウス、京都 ZERO クラブの7月度第1例会にお伺い上、新会員入会式に立ち会う事ができ嬉しく思います。EMC 増強が喫緊課題である事は皆様共通の認識です。今期150名の新会員入会を目標としています。清水 EMC 事業主任と共に各部・クラブの目標達成推進に向け、区として出来るサポートの尽力をしたい次第です。

また、第1回西日本区役員会が7月20-21日に開催されました。前年度から区費値上げを実施させて頂いていますが、区財政は今尚逼迫しています。これら課題へ向けての事やユースへのより積極的な活動支援等についても皆さまと闊達な協議をしました。各部部长を通じ、各クラブメンバー皆様のご意見など伺いたい事がこれから出てまいります、ご協力のほどよろしくお願い致します。

我々が属するアジア・太平洋地域のジョウン・ウォン（香港）地域会長のテーマは「Make a Great Impact (大きなインパクトを起こそう)」です。西日本区もさらに地域社会やユース支援に大きな影響力をもつ団体になる事を願い、大きなインパクトを起こすためにも、勇気をもって変化することへのチャレンジができればと思います。

8月はいよいよタイ・チェンマイにて国際大会が開催されます。このような大会は国際協会として幅広いネットワークを持つ団体ならではの醍醐味です。西日本区からも約30名が参加いたします。世界のメンバーと、交流と学びを通じ親睦を深めたいと思います。そして、西日本区のインパクトを世界のメンバーへも披露できる事を期待しています。どうぞ、皆さま8月度も引き続きよろしくお願い致します。

『大きなインパクトを』

2024-2025年度 西日本区理事 鵜丹谷 剛

8月の西日本区強調活動

戦略 2032

100年後を見すえて、YMIが掲げる『戦略2032』を理解し、スタートダッシュの10年を有意義なものにしましょう。

西日本区書記 今西 宏樹



キリストは律法の目標であります、信じる者すべてに義をもたらすために。

ローマ 10：14

「目標とは何か」

ある人言われた言葉です。「人は目標を口に出して祈った時、神様の御心にかなうならば、99%は達成できます。残りの1%は「やるか」「やらないか」です」。しかしどんな目標を持つかは大切です。

脳科学者の本で「巨人軍にF Aで入った一流選手は、なぜ活躍できないか」を説明していました。そういえば、それまでの実力を出せずに退団、引退、また別の球団に移っていく選手が多いように思えます。その本では、それらの選手たちは「巨人軍に入ることが目標であったため、それが達成されたのちは意欲が低下した」と解説してありました。異論はあると思いますが、目標をどこにおくか、何におくかは重要なことです。私たちは人生の目標は何かを考えねばなりません。聖書では、律法を守ることが目標となった場合、守ることだけに集中してしまうと言います。しかし律法とは本来は信じるものすべてに義をもたらすためのもので、守ることが目標ではありません。ワイズ活動で各クラブは目標を持っています。その目標とは何かを一度考える時を持ちたいものです。



中部部長

服部庄三

1993年の入会以来約30年楽しいワイズ生活を送っております。入会后しばらくして日本区最後の理事、吉田一誠さんより区会計の依頼があり、何も解らない新米ワイズが引き受けてしまいました。東西に分かれる最後の期、財産も分ける作業などなど、先輩に教えを請いながら何とか大役を努めさせていただきました。しかしその中で元理事の森田恵三ワイズ、亡くなられた岡本尚男ワイズはじめ多くの先輩ワイズのご指導を受けることが出来、今の私があると感謝しております。部長に就任するに当たり、YMCA、ワイズ、そしてそこに集まる多くの人々が笑顔になれるよう、「三方よし」の精神で一年頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

びわこ部部長

岡村遍導

「惻 隠（そくいん） びわこ部よ！互いに共感し合おう!!」

大自然豊かな滋賀県、緑深き、淡海の恵深き近江の我がふるさと、びわこ部。

地域の人々と共に喜び合い！YMCAと共に喜び合い！びわこ部のメンバーと共に喜び合い！自分を輝かせて、そして周りを照らしてゆこう！



京都部部長

山下大輔

主題：「あなたが主役」と掲げさせて頂きました。これは、クラブ会長を始め、各委員長さん、メンバーの皆様一人一人が主役という思いで各クラブ活動やYMCA事業への参加をしてもらいたく掲げております。一人一人がワイズメンズクラブ全体が盛り上がり来ると考えております。自分が楽しかったら必然と友達を誘おうとなればメンバー増強にも繋がるのでイコールワイズメンズクラブの活性化に繋げて行きたいと思っておりますので、一年間宜しく申し上げます!!!

阪和部部長

寺岡博也

阪和部部長として

この度、阪和部部長を拝命しました大阪サウスクラブの寺岡です。私の主題は「奉仕の精神をワイズに生かし自己研鑽に努める」です。

私がワイズに入会して思うことは、奉仕のクラブであり、また友好団体であることでした。

働いていた時の考え方が違う、過去の肩書無くして皆、平等であることです。

その中で、阪和部の会員数が100名を切って危機的な状況です。

皆さん会員一人にひとりが会員増を認識していただきたいと思っています。

前半では、7月に部長公式訪問の後、9月14日の阪和部 部会、9月21日の中西部と阪和部の合同のEMCシンポジウムを成功させたいと思います。また、クラブ訪問、各部会に出来るだけ参加して会員増と親睦を深めたいと思っています。どうぞ皆様のご支援ご協力よろしくお願い致します。



中西部部長

湯浅禎也

明日に向けて

今期は主題を【明日に向けて】に決めさせていただきました。20数年前入会したころに自分を磨きワイズ活動を通じて成長したいと思いました、そんな気持ちを若い人にどうすれば響くのか、自分がカッコいい大人にならなければ、そんな風を感じる今日この頃です。頑張ります！

六甲部部長

小野勅紘

六甲部部長としての私の主題は” Y・Y・YがW・W・Wの関係で互いに支え合おう” としました。これは私自身が前期に六甲部のYMCAサービス・ユース事業主査を務めた時の主題を継続するものです。

いつもはワイズはYMCAやユースを支える立場ですが、この際ワイズも支えて欲しいのです。具体的にはワイズに人材を送り込んで戴きたい。本来三位一体はキリスト教やYMCAの目的とするところですが、その一角であるワイズは今危機的な状況にあるのです。ワイズの人材源に不安があるのです。ここはワイズの人材源を開発育成していくことが大切な時です。それこそがYMCAや将来のユースの夢を実現する源にもなるのです。

狙いは「YMCA・Y's・Youthがウィン・ウィン・ウインの関係で互いに支え合おう」ということですが、本音は「やっぱり・やって・よかった」となるために、「鵜 in 鵜 in 鵜 in」の関係で、鵜丹谷西日本区理事を支えて、西日本区大会を成功裡に導いて行こうというものです。

六甲部の皆様の結束に期待しております。私の人生訓でもあります「一人では出来ない。しかし、一人が始めなければ出来ない（岸田劉生）」の一人になって戴きたいと願っております。



瀬戸山陰部部長

長寿和子

各クラブがそれぞれの特性を生かし、充実した活動を目指しているのが瀬戸山陰部です。しかし、自クラブの活動に満足することなく、お互いのクラブを知り、活動を知る。互いのクラブが助け合い、共働していくことで「チーム瀬戸山陰」を作り上げて行きたいと思っています。

西中国部部長

坂田王將

ワイズ理念を共有し共感して一人一人が共鳴する部を目指し、楽しく充実した活動ができるように、「闘魂」の赤いマフラーを首にかけ、猪木ボンバイエを引っ提げて、クラブを盛上げ、社会の礎になるように活動してまいります。

いーち、にーい、さーん、ダー——！



九州部部長

大崎隆義

東日本区大会や西日本区大会参加した。北海道の雄大さに感動し、うなぎやアスパラのおいしさを味わうことができた。

各地の例会・部会と一緒に参加しませんか。

友人知人をぜひ紹介してください。



YMCA 同盟通信

西日本区担当主事 有田征彦

■YMCA同盟協議会のご紹介

みなさんの地域の YMCA にも会員総会や会員大会という名称の、一般企業でいうところの株主総会のような会があると思います。日本 YMCA 同盟でこれにあたるものが YMCA 同盟協議会といます。例年、6 月 1 週目の週末は東日本区大会、2 週目は西日本区大会、そして 3 週目に同盟協議会が行われます。YMCA 同盟協議会は学生 YMCA を含めた加盟 YMCA の代議員が議決権を有しています。都市 YMCA において代議員は 3 名で、その構成として 1 名は総主事または代表理事、1 名は役員(レイパーソン)、残り 1 名はユース世代となっており、その年の YMCA 同盟の予算・決算や事業報告・計画が議場に諮られます。



深谷理事挨拶



大野ワイズ輪島避難所より



鶴丹谷次期理事ワークショップ

第 13 回日本 YMCA 同盟協議会が 6 月 15 日～16 日、YMCA 東山荘（御殿場市）にて約 150 名の参加で行われました。各議案が承認されたのに加え、2024 年度から本格的にスタートを切る vision2030 をテーマに、未来に向けてそれぞれの地域で YMCA が進むべき方向性、果たす役割などを考えるため、ワークショップが行われました。同盟協議会には毎年、東西両区の理事及び次期理事をご招待させていただいており、各 YMCA の代議員の中にもワイズメンの方も少なくありません。今年も、鶴丹谷（現）理事と深谷（現）直前理事にもご参加いただき、ワークショップの中で多くの YMCA の総主事・役員・ユース代表と語り合う時間をもって頂きました。また能登半島地震支援報告の時間では輪島市の避難所と中継を繋ぎ現地の様子をご紹介した際には、（たまたま？）ボランティアで避難所におられた大野 勉ワイズ（神戸ポート）も登場され会場が盛り上がる場面もありました。

ワイズの新たな期もスタートしました。YMCA も現在、夏期プログラムでキャンプなどが盛んに行われています。6 月の目まぐるしい時期を超えましたが、このような区大会や同盟協議会をはじめとした大会・イベントを通して顔を合わせ、時間を共にし、語り合う場面の積み重ねはワイズと YMCA のより深いパートナーシップを作る礎となっていくのだと思っています。



AC2025 実行委員長
田上 正(熊本むさしクラブ)

第31回アジア太平洋地域大会(AC2025) に向けての裏話

その1

降ってわいたように、田上理事期の6月第4回役員会にて第31回アジア太平洋地域大会(AC2025)が西日本区で開催するよう打診され、検討するという協議案により、具体的に熊本での開催で準備できないかということになった。翌月の7月1日の九州部評議会で熊本開催が承認され、同月の第1回西日本区役員会で承認され区としてバックアップすることが決まった。正式には、アジア太平洋地域役員会で認められての最終決定となる。西日本区大会成功で盛り上がっていた九州部は、熊本での開催を喜んで引き受けることになったのは、私の理事としての最後の挨拶で述べた、「次の男のロマンを求める」から繋がっている。

2024-2025 前期半年報

今期は1249名となり、前期深谷期より32名減でのスタートとなりました。EMCは重要な課題です。一緒にメンバー増強していきましょう。

部	クラブ名	正会員	担当主事会員	合計	特別メネット	
中部	金沢	4	0	4		
	名古屋	17	1	18	1	
	名古屋東海	16	1	17	1	
	名古屋グランパス	11	1	12		
	とやま	12	1	13		
	5	60	4	64	2	
びわこ部	近江八幡	16	1	17		
	彦根	6	1	7		
	彦根シャトー	17	1	18		
	長浜	12	1	13		
	滋賀蒲生野	12	1	13		
	高島	6	0	6		
	6	69	5	74	0	
京都部	京都	14	1	15		
	京都パレス	61	1	62		
	京都ウエスト	40	1	41		
	京都めいぶる	21	1	22		
	京都キャピタル	36	1	37	3	
	京都プリンス	17	1	18		
	京都ウイング	45	1	46		
	京都洛中	18	1	19		
	京都エイフル	23	1	24		
	京都グローバル	56	1	57		
	京都トップス	58	1	59		
	京都トゥービー	29	1	30	2	
	京都ウェル	12	1	13		
	京都ZERO	34	1	35		
北京都フロンティア	16	1	17			
京都ブラック	11	1	12			
沖縄	10	0	10			
沖縄新風	8	0	8			
	18	509	16	525	5	
阪和部	和歌山	16	1	17		
	奈良	15	1	16	2	
	大阪サウス	15	1	16		
	大阪河内	7	1	8	1	
	大阪長野	2	1	3		
	大阪泉北	16	1	17		
	和歌山紀の川	18	1	19	4	
	7	89	7	96	7	
中西部	大阪	11	1	12	1	
	大阪土佐堀	11	1	12	2	
	大阪センテニアル	9	0	9		
	大阪西	12	1	13	4	
	大阪茨木	12	1	13		
	大阪なかのしま	15	1	16		
		6	70	5	75	7
	大甲部	神戸	20	1	21	9
		西宮	19	1	20	1
		神戸西	11	1	12	1
神戸ポート		20	1	21		
宝塚		14	1	15		
神戸学園都市		8	1	9		
芦屋		17	1	18		
		7	109	7	116	11
瀬戸山陰部	姫路	6	1	7		
	岡山	20	1	21		
	姫路グローバル	8	1	9		
	米子	10	1	11		
	4	44	4	48	0	
西中国部	広島	20	1	21		
	福山	8	1	9		
	呉	8	1	9		
	東広島	2	1	3		
	岩国みなみ	12	1	13		
		5	50	5	55	0
九州部	長崎	4	0	4		
	熊本	19	1	20	2	
	北九州	4	1	5		
	福岡中央	8	1	9	2	
	熊本ジェーンズ	30	1	31		
	八代	8	1	9		
	鹿児島	8	1	9		
	熊本むさし	13	1	14		
	熊本みなみ	21	1	22		
	熊本ひがし	16	1	17		
	阿蘇	13	1	14		
	熊本にし	18	1	19		
	熊本Nスピリット	12	1	13		
	熊本水前寺	9	1	10		
	14	183	13	196	4	
総計		72	1,183	66	1,249	36

第1回役員会議事報告／概要版

開催日 2024年7月20日(土)～21日(日)

開催場所 ホテルクラントン新大阪

出席者 出席者 32名(兼任を除く)

第1号議案	第1回準備役員会及び第2回準備役員会の議事録承認の件		
議案内容	2024年4月13日(土)ホテルクラントン新大阪において開催の第1回準備役員会及び2024年6月7日(金)名古屋都市センターにおいて開催の第2回準備役員会の議事録の承認を求めます。		
提案者	西日本区書記 今西宏樹	審議結果	出席者全員賛成 可決承認

第2号議案	2024-2025年度 西日本区第1回役員会の聖日早天礼拝献金贈呈先の件		
議案内容	2024年7月21日(日)開催の第1回役員会の聖日早天礼拝献金については、西日本区災害支援金へのプール金とすることを承認願います。		
提案者	西日本区理事 鶴丹谷剛	審議結果	出席者全員賛成 可決承認

第3号議案	ワイズのイベントで使用する名札ケースを各自保管用として運用する件		
議案内容	ワイズの行事に使用する「名札ケース」を各自個人が常備することにより、費用削減ならびに多くの作業手間を簡略化する。西日本区の所属クラブ全体にアンケートを実施して、希望枚数を各クラブで購入。クラブまたは個人で保管している場合はその数を除く。イベントの度に各自持参し、終了後、回収せず持ち帰る。会場の受付では名札と領収書のカードのみ用意して、持参したカードケースに入れてイベントに参加する。因みに東日本区では10数年前から実施している。		
提案者	六甲部部長 小野勅紘	審議結果	議案取下げ

第4号議案	「国際・交流事業」を「国際・交流・ファンド事業」に変更する件		
議案内容	「国際・交流事業」または「国際・交流事業(主任、主査、委員など)」に「ファンド」を復活追加して「国際・交流・ファンド事業(主任、主査)」に変更する。		
提案者	六甲部部長 小野勅紘	審議結果	議案を取下げ、協議案へ変更

※第6号協議案へ変更

第5号議案	EMC 奨励金の YES 献金の使用の件		
議案内容	各部開催の EMC シンポジウム(*注)について YES 献金を活用して、各部に金銭的支援を行い、EMC 活動を活性化。申請のあった各部の EMC シンポジウム(*注)出席率と「わがクラブの状況・EMC 事業計画書」の提出率の合計の上位から YES 献金から 20 万円を下記の分配率に応じて奨励金を支給する。 ※奨励金分配比率及び金額は割愛		
提案者	EMC 事業主任 清水真一	審議結果	議案取下げ

第1号協議案	EMC 事業費 ワイズメンズクラブの明記したボールペン作成費用		
協議内容	例会や事業に参加してくれたワイズメンズクラブの正会員、広義会員、功労会員、特別メネット以外のゲストへ配布するボールペンを作成し、希望のあるクラブへ配布する。 今年の事業方針の1つである「ワイズメンズクラブの知名度を地域等で50%向上させる」に寄与出来るものを考える。		
提案者	EMC 事業主任 清水真一	協議結果	事業委員会で検討

第2号協議案	特別会計の「大槻基金」の有効活用検討について		
協議内容	特別会計として計上されている「大槻基金」(総額 399,963 円)をユース活動に関わる支援金として有効活用する事を検討したい次第です。		

	特に 2025 年 8 月熊本開催のアジア・太平洋地域大会と併催の AYC(アジアユースコンボケーション)にて、より多くのユースが参画できるよう支援を出来ればとおもいますが、その事にむけ、当該基金をより効果的に利用できる事を期待し、皆様のご意見、ご提案を賜りたく存じます。尚、本協議案をもとに、第 2 回役員会を目標に具体的な議案として上程したいと考えています。どうぞ前向きなご意見をお願いいたします。		
提案者	西日本区理事 鶴丹谷剛	協議結果	継続協議の上、次回以降議案上程

第 3 号協議案	西日本区区報の今後の在り方を検討する件		
協議内容	<p>西日本区区報は理事を発行者とし、2013 年までは区書記が原稿収集を行っていましたが、書記業務多忙事由により、2014 年以降区報編集委員会が発足し、本業務を移行し現在に至っています。定款施行細則第 20 条及び西日本区事業目標等により、現在区報は年 3 回発行されており、印刷・実本として会員全員へ配布される区唯一の公式広報文献の位置づけとなっています。</p> <p>一方、理事通信も初代佐々木理事から毎月発行されており、特に近年の飛躍的な情報技術革新に伴い、その内容・情報量において年々充実しており、事業通信も含めて、データ発信による会員へのオンタイムな情報紙の位置づけとなっています。その意味では、会員への広報ツールとして理事通信(及び事業通信)が相応の役割を果たしている事も事実です。</p> <p>これら現況を踏まえ、区報の歴史的背景、西日本区の実状や時代環境など総合的な観点で考慮をいただいた上で、区報の今後の適切かつ合理的な在り方について、皆様の率直な意見を広く求めたい次第です。勿論、前段上述の見解への妥当性等についての意見でも結構です。</p>		
提案者	西日本区理事 鶴丹谷剛	協議結果	各部・クラブで意見集約・継続協議

第 4 号協議案	現在の事業委員会の強化を図る件。とくに EMC 事業委員会の強化は必要である。		
協議内容	4事業の事業委員会の強化を図りたい。特に EMC 事業は急務であるし、京都部に偏重している傾向も是正したい。メンバーの少ない部ほど委員の強化は必要と思われる		
提案者	六甲部部长 小野勅紘	協議結果	事業委員会で検討

第 5 号協議案	事業規模に合致した西日本区の各事業主任、各部部长、部各事業主査の負担の軽減と効果期待について。		
協議内容	<p>1. クラブ人数の少ない部での事業主査の輩出には、変則的な組織を承認する。負担の軽減と兼務による人材の輩出に工夫を加えて変則な形式を承認する。例えば、人数が100人未満の部には兼務と省略により負担の軽減を採用する。</p> <p>① 各部輩出の事業主査の業務の合理化を図り、作業の軽減を図る。</p> <p>② 一部の主査を兼務として権限を図る EMC事業主査とYサ・ユース事業主査はそのままし、地域奉仕・環境事業主査(A部輩出でB部も兼務)、次年度はA部とB部が交代する。</p> <p>③ 事業主任の内直前事業主任と次期事業主任の内どちらかが、副主任として主任の業務の一部を補佐する。各種工夫して業務の軽減を図る。</p> <p>2. 部では人数の多い部の部長の負担は大きい。メンバー数300人以上の部には部長を 補佐する「副部长」を設置して、西日本区の役員会における議決権を加算する。ただし、人数の少ない部については議決権に変更はないものとする。</p>		
提案者	六甲部部长 小野勅紘	協議結果	協議内容見直し

第 6 号協議案	「国際・交流事業」の名称を「国際・交流・ファンド事業」へ変更検討する件		
協議内容	西日本区定款施行細則第 13 条第 1 項の4に定めのある「国際・交流事業」の名称を、以下の提案理由により「国際・交流・ファンド事業」に変更検討する協議に対し、ご意見をよろしく願います。		
提案者	六甲部部长 小野勅紘	協議結果	事業委員会で検討

※議案内容等、掲載情報量の観点により一部内容割愛している所があります。詳細は区報に掲載しますので、区報をご確認下さい。

部会 予定

2024 ~ 2025 年度 各部部会の開催日程です。





阪和部

2024年9月14日 (土)

会場：シティプラザ大阪
ホスト：大阪サウスクラブ

第36回 阪和部会
令和6年(2024年) 9月14日(土) 11:30~15:20
受付 11:00 開会 11:30

会場：シティプラザ大阪
TEL 06-6947-7702
大阪市中央区本町橋2-31
(堺筋本町1番出口から徒歩5分)

会費：10,000円
(メン、メネットいづれも)

プログラム 概要

1部 ・ワイズソング
・阪和部長挨拶
・来賓挨拶
・各クラブ会長、各事業主兼メッセージ

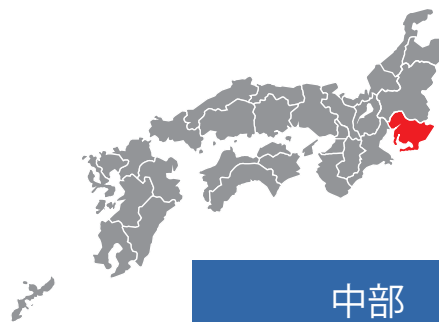
2部 ・会食・懇親

3部 ・基調講演

基調講演：元メガバンク支店長 現日本野球連帯利用委員長 尾崎 泰輔

テーマ 『二刀流』で生きる幸せ
メガバンクに勤務しながら30年を超えるときに再び甲子園での高校野球の審判をはじめ大学野球でも審判を務められた元高校球児

お申込みは、FAXまたは、E-mailにて 令和6年(2024年)8月31日(土)までに下記までお申込みください
FAX：06-6945-7410 E-mail：akira@tetsutani.co.jp
阪和部長 寺岡 博也
ホストクラブ 大阪サウスクラブ 実行委員長 鉄谷 明



中部

2024年9月28日 (土)

会場：ホテルルブラ王山
ホスト：名古屋グランパス

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
28回 中部部会
ホストクラブ・名古屋グランパスクラブ

YMCAに笑顔を。
ワイズに笑顔を。
そしてみんなに笑顔を。

■申し込みはコチラ
<https://www.yw-chubu.jp/2024/09/28/2024chubu02.pdf>

2024.09.28(土)
会場：ホテルルブラ王山 名古屋千種区覚王山通8-18
■時間 / 15:00-18:00 ■料金 / 12,000円
■交通アクセス / 名古屋駅より地下鉄東山線 稲ヶ丘行「地下駅」下車2番出口より徒歩3分



中西部

2024年10月26日 (土)

会場：ホテルクライトン新大阪
ホスト：大阪西クラブ

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
中西部部会
明日に向かって
We are going to work hard towards our goal tomorrow.

2024年10月26日(土) AM11:00~14:00
ホテルクライトン新大阪 8000円
大阪府大阪市淀川区西中島2-13-32
ホスト 大阪西ワイズメンズクラブ・中西部

第28回 西日本区大会



ワイズメンズクラブ国際協会
第28回
西日本区大会

Challenge for Change
BE Y's IN KOBE



2025
6.14 sat.

SMILE. IMPACT. CONNECT.

■ 会場 ANA クラウンプラザホテル神戸

ホストクラブ： 神戸クラブ・西宮クラブ・神戸西クラブ・神戸ポートクラブ・宝塚クラブ・神戸学園都市クラブ・芦屋クラブ

理事通信 8月号お知らせ

8-1 国際会長交代

メール既報通り、7月4日（ジュネーブ時間）付けで新国際会長が就任しました。

新国際会長 氏名： A・シャナヴァスカーン（インド）

○主題： Together for a Better World 日本語訳： より良い世界のために、共に

○スローガン： Arise and Shine 日本語訳： 立ち上がろう、そして輝こう

西日本区ロースターには、7月1日時点のチャーミング・シェン国際会長の主題・スローガンが掲載されています。各部・各クラブの部報・ブリテンなど今後の発刊物等に関しましては、新国際会長氏名・主題・スローガンをご使用ください。

8-2 前期半年報報告ならびに区費納入のお願い

2024年7月1日時点の会員数（前期半年報より - 別頁参照 -）は1249名となり、昨年度2023年7月1日時点の1281名より32名会員減少からのスタートとなりました。今期会員増強に向け皆さま是非ともよろしくお願いいたします。

尚、前期半年報に基づき、区費の請求書と「払込取扱票」を西日本区事務所より送付いたしました。8月15日までに納入をお願いいたします

8-3 西日本区事務所夏季休暇のお知らせ

メール既報通り、西日本区事務所は8月14日から20日迄夏季休暇となります。（実質8月10日土曜日から8月20日迄閉所となり8月21日から再開です。）

8-4 ロースター発送ならびに掲載事項に関するお知らせ

ロースターは7月22日以降、順次発送が開始されておりますので、よろしくお願いいたします。尚、7月度理事通信のお知らせ■7-3でもご案内とおり、ロースターには改定後国際憲法が掲載されております。ただ、それに付随して変更が必要とされる『ワイズ用語』などについては、改訂情報が更新されておられません。これらにつきましては、今後状況が整い次第、皆様へ別途お知らせいたします。

理事通信 2024 08 編集後記

今月は部長の皆様をご紹介しました。今年1年皆様の部を率いて下さいます。

7月は鵜丹谷期の第一回役員会が開催されました。概要版ではありますが議事報告を掲載しておりますので、ご確認ください。また、詳細は区報に掲載しますので、区報発行されましたら是非ご覧ください。また、今月より2025年8月に開催予定のアジア太平洋地域大会（AC2025）のコラムが始まりました。田上実行委員長による裏話が続きます。次号もご期待ください。

今西 ▶ imanishi@idumi-s.com
馬場 ▶ aki_banba@e-shoei.com

西日本区事務局 事務局長

馬場 昭宏

